

国営企業「ハルキウ地下鉄」の試験委員会による試験報告書

地下鉄車両のEK-4B圧縮機： 空気圧装置への充てん時間の短縮 分解不要、営業運転中

国営企業「ハルキウ地下鉄」、「サルティウシケ」車両基地・技師長兼第一副局長のO.F.デムチェンコを委員長とする試験委員会、署名者6名

ウクライナ、ハルキウ市・1999年9月15日付の試験報告書・測定期間1999年4月15日～9月9日

製品

XADO RVS

補修・再生剤。試験報告書の結論では「XADOの技術」と表記

処理対象

EK-4B圧縮機

車両No.9300、No.9730、
No.9726・「サルティウシケ」車両基地

文書の種類

事業所の試験委員会による
試験報告書
署名・押印あり

車両	観察期間中の走行距離	測定期間・測定回数
No.9300	43,739 km	1999年4月15日～9月3日、測定4回
No.9730	38,747 km	1999年4月15日～9月3日、測定4回
No.9726	27,789 km	1999年5月25日～9月9日、測定3回

営業線で通常運用中の車両であり、圧縮機の取外し・分解は行っていない。

主な結果

↑ **5-34 %**

吐出し量、6 kgf/cm²までの充てん時間：3:33～4:16 →
3:11～3:38 min:s

↑ **3-5 %**

吐出し量、8 kgf/cm²までの充てん時間：5:12～5:37 →
5:03～5:21 min:s

空気圧装置への充てん時間：観察期間の初回・最終測定

車両	圧力	初回測定	最終測定	短縮時間
No.9300	6 kgf/cm ²	3:57	3:38	19 s
No.9300	8 kgf/cm ²	5:37	5:21	16 s
No.9730	6 kgf/cm ²	4:16	3:11	1 min 05 s
No.9726	6 kgf/cm ²	3:33	3:23	10 s
No.9726	8 kgf/cm ²	5:12	5:03	9 s

吐出し量はTsMetro/4135規程に従って確認した。測定を重ねるごとに、充てん時間は前回の測定値を下回った。

試験委員会の結論

国営企業「ハルキウ地下鉄」の試験委員会は次のとおり記録した。「測定結果から、圧力が0から8 kgf/cm²に達するまでの時間が**16～55 s**短縮する傾向が見られ、これはピストン部のすきまの減少に伴う圧縮機の吐出し量の向上を示している」。その他の処理部位（戸つり装置・輪軸の減速機・主電動機の軸受）については、分解せずに、かつ部品ごとの測定を行わずに部品の変化の性質を評価することは事実上不可能であるとしたうえで、「現在まで否定的な結果は出ていない」と記した。試験委員会の決定は、「XADOの技術により処理した摩擦部位の監視を引き続き行う」ことである。なお、圧縮機は車両から取り外していない。改善は、観察期間中に**27,789～43,739 km**を走行した営業線の車両で得られたものである。

XADO

© XADO。無断複製・転載禁止。

本結果は、「サルティウシケ」車両基地の運用条件下における地下鉄車両のEK-4B圧縮機に関するものであり、他の機械類では測定値が異なる場合がある。RVSIはXADOの旧称であり、第0世代の処理剤を指す。現行世代の製品はリバイタリザント（摩擦面再生剤）である。署名・押印のある1999年9月15日付試験報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードが可能である。